

第 8 課

ヨハネの福音書 第 8 章

この課であなたが学ぶことは……

姦淫の現場で捕らえられた女

世の光であるイエス

わたしが行く所に来ることができない

自由人と奴隷

イエスとアブラハム

姦淫の現場で捕らえられた女

ヨハネの福音書 8 : 1 ~ 11 を読んで下さい。

私たちが他人を批判したり裁いたりすることについて、イエスは非常によい規範を教えて下さいました。

あなたがたのうちで罪のない者が、最初に石を投げなさ

い。 ヨハネ8：7



この時、イエスは地面にこの女を引っぱって来た者たちの罪を書いておられたのではないのでしょうか。イエスの投げかけた言葉に、聞いていた人々は恥じてしまい、ひとり、ひとりと立ち去ってしまいました。

罪のないと公言できるのはイエスただ一人でした。イエスはその女を裁かれず、彼女のいのちを救い、罪を赦されたのです。そして女に再び罪を犯してはいけないと言われました。私たちも神に罪を赦された者ですから、再び罪を犯してはならないのです。



自習のために

- 1 ヨハネ 8 : 7 を暗誦して下さい。そしてあなたが他の人を批判してしまうときこの聖句を言って下さい。
- 2 神に赦しを求めたものが再び罪を犯さないよう祈って下さい。

世の光であるイエス

ヨハネ 8 : 12~20 を読んで下さい。

イエスは「わたしは世の光です」と言われました。聖書は罪、またそれに関することを闇と表現しています。輝く光としてイエスが闇である私たちの罪を照し、また天国への道をも照して下さい。私たちは罪の赦しを受けなければ、だれも天国へ行くことはできません。24節には、イエスを信じない者は、罪の中で死んだ者であると記されています。



自習のために

- 3 ヨハネの福音書の序論である 1 : 1~9 を再度読んで下さい。

- 4 なぜイエスはご自分が世の光であると言われましたか。
- 1) まことの光であり、私たちの罪と天国への道を照らして下さる。
 - 2) イエスは昼の間に教えられ夜は教えられなかった。
 - 3) 人々に夜のためにランプを渡されたので。

わたしが行く所に来ることができない

ヨハネの福音書 8 : 21~30を読んで下さい。

ここで再びイエスは、自分の死について、だれも来ることのできない所であると語られました。イエスは天国から来られ、また天国へ帰られるお方ですが、その前にこの世の罪のために人の子としてご自分は十字架につけられ、殺されなければならなかったのです。このことについて3章の、イエスとニコデモの会話を思い出して下さい。

モーセが神にその名を尋ねたとき、神は「わたしはある」という名前を使われましたが、イエスが神の子であり救い主であられることは、イエスの死と復活によって私たちは信じることができます。



自習のために

- 5 23、24、28、29節を3回くり返し読んで下さい。

6 荒野でモーセが青銅の蛇を竿の上にあげたように、人の子もあげられるとイエスはだれに言いましたか。

7 ヨハネ3：14～21をもう一度読んで下さい。

自由人と奴隷

ヨハネの福音書8：31～47を読んで下さい。

だれでも罪を犯す者は罪の奴隷である。とイエスは言われました。罪人である人間は、罪は犯したくないと願ってもそれを止めることができないのです。人々は罪を恐れつつも犯してしまう自分がわからないと告白しています。奴隷には必ず主人がいますが、罪人とは悪魔の奴隷なのです。しかし、私たちがイエスを信じ従うとき、罪と悪より開放されて自由人とされるのです。



もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。ですから、もし子があなたがたを自由にするなら、あなたがたはほんとうに自由なのです。

ヨハネ8：31、32、30



自習のために

- 8 ヨハネ 8 : 31~32と36を暗誦して下さい。
- 9 罪の奴隷となっている友人が、イエスによって自由にされるよう祈りましょう。

イエスとアブラハム

ヨハネの福音書 8 : 48~59を読んで下さい。

イエスの教えを聞いたある人々はずまずいてしまいました。自分たちは一度も人の奴隷になったことはないと言うのです。そして自分たちは、アブラハムの子孫であり、生まれながら自由人であると主張するのです。私たちはだれもが、自分が悪魔の奴隷であるなどと考えることはありませんが、イエスによって罪から開放されるまでは、確かな事実なのです。

人々がアブラハムについて話したとき、イエスはアブラハムがイエスの日を見て喜んでいられると言われました。また「アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです」と言われたこの「わたしはいる」という動詞の現在形が使われたのは、出エジプト記 3 : 14で神が使われたことと同じでした。

神はモーセに仰せられた。「わたしは、『わたしはある』という者である」また仰せられた。「あなたはイスラエルにこう告げなければ

ならない。『わたしはあるという方が、私をあなたがたのところに遣わされました』と。』

出エジプト 3 : 14

これを聞いた指導者たちは、石を取ってイエスに投げつけようとしたが、イエスはそれを避けて安全な所へ行かれました。神の時がまだ来ていなかったからです。イエスは私たちの罪のために来られ、神の定められたときに死なれたのです。



自習のために

10 ご自分とアブラハムについてイエスは何と言われたか。

- 1) アブラハムは私の父でした。
- 2) 私はアブラハムを見たことはありません。
- 3) アブラハムの生まれる前からわたしはいるのです。



正 解

- 4 1) まことの光であり、私たちの罪と天国への道を照して下さるから。
- 10 3) アブラハムの生まれる前からわたしはいるのです。
- 6 ニコデモ。